

2025年度

東京つくし会評議員会

議案書

日時：2025年6月19日（木）10時～12時
会場：調布市文化会館（たづくり）8階映像シアター

東京都精神保健福祉家族会連合会
（東京つくし会）

◇はじめに

1) 滝山病院事件から、2年以上が経過した。この間、「滝山病院の虐待防止委員会」の委員に植松副会長を出し、積極的に関わってきた。2024年9月からは、理事長も院長も刷新され、11月から「希望の丘八王子病院」と改名した。外来患者を受け入れるようになり、看護師等の常勤化、建物の改修工事なども進み、少しずつ新しく生まれ変わろうと努力しているようであるが、今後もしっかりと見守る必要がある。

令和6年度東京都予算には、①精神科病院における虐待の通報窓口の設置、虐待防止研修の実施、②身体合併症（慢性維持透析）に係る医療提供体制の確保事業、③区市町村長の同意による入院者への訪問支援事業が新規に盛り込まれた（東京都の令和6年度事業につくし会から理事が参加し事業実施を確認）が、それらが確実に実施されているかを点検し続けることが大切である。

2) 東京都福祉局及び保健医療局・教育庁への要望活動や都議会各政党・会派への働きかけには、コロナの2類から5類へ移行したことにより、理事だけでなく各家族会にも参加を呼び掛けて実施できた。

3) 「東京都精神保健福祉連絡会」(注)の代表として、都知事ヒヤリング（都庁）に会長が参加し、「精神障害者ピアサポーターの育成及びピアサポート活動の支援の充実」を訴えた。

4) コロナ禍でしばらく休止していた病院見学会（恩方病院）を3回に分けて少人数ずつ実施した。

5) 理事による家族会訪問は、18家族会で実施することができた。また、「ほっと・スマイル」家族会10周年記念会および「渋谷太陽の会」25周年記念会に理事が出席した。

6) 家族会の存続が危ぶまれる家族会の役員会等に理事が訪問して、具体的にどのような支援が必要かを話し合いを行った。

7) NHKの精神障がい者及び家族の現状や課題に対するアンケートに企画・協力し、精神障がい者を支える家族の重い負担の実態と家族の高齢化問題、地域で支えていく体制の脆弱さ等をテレビでアピールした。

（注）東京都社会福祉協議会の組織の一部で、構成員は東京都精神保健福祉民間団体協議会（都精民協）と同じ

1. 啓発広報事業

1) 都内の精神保健福祉関係者・当事者・家族等の必携書である「道しるべ」の発行にたずさわり、精神障がい者の福祉制度や社会資源などを広報した。

2) 会報「つくしだより」を毎月発行し、情報を各家族会と関係機関・賛助会員に伝えた。理事会で会報の編集会議をもち、理事が原稿を分担したり、家族会や都立病院幹部に寄稿を依頼する等、内容の充実に努めた。

3) ホームページを活用し、当会の目的や活動等を紹介し、会報「つくしだより」やイベント紹介、集会案内などタイムリーに情報を伝えた。

- 4) 上半期講演会を評議員会後に開催した。(東京都委託事業)
日時：2024年6月21日(金) 14:00～16:00
会場：調布市文化会館(たづくり) 8階映像シアター
演題：精神障がい者が事件を起こしてしまったら
～被害者への損害賠償は家族が負担？～
講師：奥田 真帆氏(弁護士・アジール法律事務所)
- 5) 下半期講演会を開催した。(東京都委託事業)
日時：2025年2月22日(土) 14:00～16:00
会場：東京都庁 都民ホール
演題：超短時間雇用が広げる障害者雇用の可能性
～人も企業も幸せになる働き方～
講師：近藤 武夫氏(東京大学先端技術研究センター教授)
- 6) 厚労省の委託事業「ひきこもりホットライン」(3年目)に理事を相談員として派遣した。
- 7) 特別支援教育担当研修会で、精神障害者の実情と教育の場での配慮について理事が話をした。

2. 家族会活性化事業

- 1) ブロック会議の充実に努め、23区と多摩ブロック会議を各2回ずつ実施し、家族会の交流や情報交換、都連への要望・意見交換等に寄与した。
- ★23区ブロック(会場：東京都障害者福社会館)
- ① 2024年9月15日(日) 13:30～16:30
② 2025年3月15日(土) 13:30～16:30
- ★多摩ブロック(会場：府中市片町文化センター)
- ① 2024年8月31日(土) 13:30～16:00
② 2025年3月1日(土) 13:30～16:00
- 2) 第4回東京の精神科病院家族会交流会を開催。
日時：2025年3月20日(木) 13:30～16:00
会場：東京都障害者福社会館
- 3) 役員・理事の訪問を希望する18家族会への訪問を行った。
- 4) 「都連ニュース」を毎月発行し、各単会会長等に、理事会の報告をした。

3. 精神保健福祉施策推進活動

- 1) 「みんなねっと」と連携した活動
- a) みんなねっと総会、理事会に参加(会場参加とオンライン)
- b) 障害者運賃割引に関する割引制限撤廃について、JR東日本、東急、東京メトロ本社へ理事が要請した。

2) 東京都への要望活動

a) 対都議会各会派への要望書提出と懇談（7/27～9/12）

（都民ファースト、自民党、公明党、日本共産党、立憲民主党、東京みらい、生活者ネット、自由を守る会、東京維新）

b) 今年度は、対都要望交渉は9/2に行った。

要望項目は、①アウトリーチ拡充で精神科医療に繋げる施策、②精神疾患患者の身体合併症の治療ができる精神科病院の増加、③精神科休日夜間救急診療が近隣地域で受けられる体制整備と民間移送サービスを使用した場合の補助、④思春期における精神疾患の早期発見のための施策⑤精神障害者にも福祉手当、⑥マル障を2級まで拡大、⑦家族会活動への支援の7点に絞った（②と③については、都において対応策を講じつつあり注目されるが、実効性を見極める必要あり）。

c) 都知事ヒアリング（12/19）で、会長が「精神障害者ピアサポーターの育成とピアサポート活動の支援の充実について」訴えた。

3) 東京都が主催する会議に委員として理事が参加し、精神障害者及び家族の切実な福祉施策への要望を訴えた。

a) 東京都地方精神保健福祉審議会

b) 東京都障害者施策推進協議会

c) 東京都障害者差別解消支援地域協議会

d) 東京都障害者社会参加推進協議会と「ふれあいフェスティバル」

e) 東京都障害者技能競技大会（アビリンピック）と運営委員会

f) 東京都成年後見ネットワーク会議

4) 東京都障害者団体連絡協議会に副会長が参加。

5) 東京都精神保健福祉民間団体協議会（通称：都精民協）の代表を会長が継続し、役員会に会長が、運営委員会に会長・副会長・会計担当理事が関わった。事務局も引き続き東京つくし会が担う。今年度も、オンライン会議で運営委員会・役員会・要望ワーキンググループを実施。

6) 東京都社会福祉協議会の評議員会（会場又はオンライン）に出席。

・障害者福祉サービス運営適正化委員会は、オンラインで行ない現地調査にも参加。

7) 東京都の障害者相談事業（東京都障害者福祉会館にて。毎月29日）に協力。

8) 「公益信託池田輝子記念精神障害者福祉基金」運営委員会に参加。

9) 「公益信託障害者愛の福祉基金」運営委員会に参加。

10) 足立区精神障がい者施設指定管理者選定審査会に参加。

11) 東京都手をつなぐ育成会大会と新年会に参加。

12) 希望の丘八王子病院（旧滝山病院）の虐待防止委員会に参加。

4. 相談事業

1) 家族相談員養成講座を23区と多摩の2ブロックで1回ずつ開催した。

★多摩ブロック

日時：2024年8月31日（土）10：00～12：00

会場：府中市片町文化センター

講師：西村由紀氏（メンタルケア協議会副理事長）

★23区ブロック

日時：2024年9月15日（日）10:00～12:00

会場：東京都障害者福祉会館

講師：西村由紀氏（メンタルケア協議会副理事長）

2) 令和6年度家族相談員養成スキルアップ研修会を開催した。

日時：2024年11月30日（金）13:00～15:30

会場：東京都戦没者霊園会議室

講師：太田 聡子（とみこ）氏（医療法人甲州リハビリ病院勤務・社会福祉士・
精神保健福祉士・介護支援専門員）

辻村 あずさ氏（横浜市洋光台地域ケアクラブ地域包括支援センター・
社会福祉士）

3) 東京都の委託事業による相談事業を通して単会の相談機能を支援した。都連としては、毎週水曜日11時～16時まで、理事による電話相談を行った。

4) 「年金相談」事業は、新システムで3年が経過した。

5) 厚労省の委託事業として開催された「ひきこもりホットライン」相談会に相談員として理事を派遣。

5. 三役会・理事会と事務局の充実

- 1) 毎月、三役会で理事会の議題を整理し、理事会が円滑に行われるよう努めた。
- 2) 理事同士の連帯感を強め、会の活動を理事全員で担う活動スタイルにするため、情報共有を密にした。
- 3) 現役世代も理事になれるように、理事会を土・日曜日開催にした。

6. 財政問題

- 1) 2024年1月より事務局員1名体制にした。事務局の仕事をカバーするために、理事が役割分担をしてきた。
- 2) リーフレットと賛助会員加入依頼を家族会員に渡し、地域の病院やクリニックに働きかけ、会員・賛助会員の増加と継続のための努力をした。

7. その他

- 1) 第16回みんなねっと北海道大会（10/12）に都連から参加した。
 - 2) みんなねっと関東ブロック都県連会長会議（注）第18回（8/26）、第19回（2/25）に役員が出席。（東京都障害者福祉会館）
- （注）「みんなねっと関東ブロック都県連」は茨城、千葉、神奈川、栃木、埼玉、群馬、東京の1都6県の家族会連合会のこと。

第二号議案

2024年度 決算報告書

《一般会計決算》

収入の部

(単位：円)

勘 定 科 目	2024年度予算額A	2024年度決算額B	増 △ 減 C=B-A	備 考
前年度繰越金	1,153,163	1,153,163	0	
団体会費	1,992,000	1,908,000	△ 84,000	795名
賛助会費	150,000	188,000	38,000	団体・個人
共同募金会配分金	440,000	440,000	0	
寄付金	350,000	606,602	256,602	団体、個人等
立替金	97,615	97,615	0	都精民協下半期講演会立替返金
雑収入	0	645	645	労働保険料還付
利息	0	134	134	銀行預金利息
合 計	4,182,778	4,394,159	211,381	

支出の部

(単位：円)

勘 定 科 目	2024年度予算額A	2024年度決算額B	増 △ 減 C=B-A	備 考
人件費	1,050,000	1,004,359	△ 45,641	事務局職員賃金・交通費
福利厚生費	4,000	0	△ 4,000	労働保険料
役員行動費	60,000	60,000	0	会長活動費
会議費	40,000	14,900	△ 25,100	会場費他
交通費	300,000	274,390	△ 25,610	行動費（理事会・三役会交通費を含む）
通信運搬費	130,000	105,184	△ 24,816	電話料、郵便料、振込手数料
消耗什器備品費	20,000	8,999	△ 11,001	
消耗品費	200,000	163,106	△ 36,894	A4, B5用紙、封筒、文具他
修繕費	5,000	0	△ 5,000	機器修理代
印刷製本費	330,000	305,488	△ 24,512	印刷紙折り機使用料、印刷・プリンタインク
家賃	380,000	379,420	△ 580	事務所家賃・火災保険
負担金支出	100,000	90,000	△ 10,000	東社協・みんなねっと他
渉外費	30,000	52,200	22,200	慶弔費
旅費	130,000	136,054	6,054	2024みんなねっと北海道大会
つくしだより発行事業費	230,000	239,296	9,296	つくしだより発行費
調査研究費	5,000	0	△ 5,000	
研修費	5,000	2,000	△ 3,000	研修会参加費
情報宣伝費	6,000	6,600	600	HP管理料
予備費	30,000	0	△ 30,000	供花
立替金	100,000	74,000	△ 26,000	都精民協下半期講演会立替
雑費・雑損	10,000	14,308	4,308	
合 計	3,165,000	2,930,304	△ 234,696	

総 収 入	4,182,778	4,394,159	211,381	
総 支 出	3,165,000	2,930,304	△ 234,696	
次年度繰越金	1,017,778	1,463,855	446,077	

※負担金支出先：東京都社会福祉協議会、東京都精神障害者連合会、民間相談機関連絡協議会 他

《特別会計決算》

新規事業立ち上げ準備金会計

収入の部

(単位：円)

科 目	2024年度予算額A	2024年度決算額B	増 △ 減 =B-A	備 考
前年度繰越金	6,464,587	6,464,587	0	内訳 { 定期預金 5,009,503 通常貯金 1,455,084
委託事業会計へ立替返金	4,187,000	4,187,000	0	
利息収入	7	320	313	
合 計	10,651,594	10,651,907	313	

支出の部

(単位：円)

科 目	2024年度予算額A	2024年度決算額B	増 △ 減 C=B-A	備 考
委託事業会計へ立替	4,187,000	4,187,000	0	
計	4,187,000	4,187,000	0	
次年度繰越金	6,464,594	6,464,907	313	内訳 { 定期預金 5,009,583 通常貯金 1,455,324
合 計	10,651,594	10,651,907	313	

《委託事業会計決算》

1) 精神保健福祉相談事業

収入の部

(単位：円)

勘 定 科 目	2024年度予算額A	2024年度決算額B	増 △ 減 =B-A	備 考
東京都委託事業	4,187,000	4,187,000	0	道しるべ、講演会 相談事業等
合 計	4,187,000	4,187,000	0	

支出の部

勘 定 科 目	2024年度予算額A	2024年度決算額B	増 △ 減 =B-A	備 考
東京都委託事業 (みちしるべ/講演会)	3,581,000	3,581,000	0	道しるべ、講演会 相談事業等
(連絡調整事業)	606,000	606,000	0	都精民協運営費
合 計	4,187,000	4,187,000	0	

2024年度

東京都精神保健福祉家族会連合会会則第7条第5号の規定により、監査対象である一般会計、特別会計、委託事業会計の収支について監査を行った。収入、支出関係の諸帳簿及び預金通帳、現金残高を照合したところ適正に処理されたことを認める。昨年度に引き続き、収入関係では登録会員が減少傾向にある。また、賛助会員の増加については微増であり、2025年度より都内精神科100病院に対し、つくしだよりの配布などの努力は行われているが、このままの状況が続くと、会の運営に支障が出るのが十分考えられる。これは、会の高齢化等による会員減少があり、つくし会全体として考える必要がある。理事会におかれては、今後とも会の財政運営の健全化を目指し一層の努力をされたい。

2025年4月25日

監事 告野恵子

湯山南宏

◇はじめに

- 1) 東京つくし会は、精神障害者とその家族が安心して地域生活ができるように、精神保健・医療・福祉・教育等を充実させるための活動をしている。また、家族や当事者が孤立しないように、家族会活動を継続するための様々な工夫が求められている。活動を推進していく東京つくし会の理事を計画的に世代交代ができるように、リーダーを育てる取り組みが重要である。
- 2) 2025年4月より、JRグループと大手私鉄16社が、揃って精神障害者の運賃割引を導入した。これは、私たち精神障害者家族会が「みんなねっと」を中心に長年に及ぶ粘り強い運動により、やっと身体・知的障害者と同じ地点に立てたものである。この成果に確信を持ち、今後は他障害者団体と連携して、100 以下の同伴条件も廃止し、すべての手帳所持者が割引の対象となるように改善を求めている。
- 3) 2024年12月に行われた都知事ヒアリングで、「東京都精神保健福祉連絡会」として「精神障害者ピアサポーターの育成及びピアサポート活動の充実」を要望したところ、①精神障害者地域移行体制整備支援事業に1千万円、②東京都障害者ピアサポート研修事業に2千万円が増額された。今後もピア活動の充実に取り組む。
- 4) 東京都では、「障害者雇用促進法」に基づき第2期障害者活躍推進計画（令和7年度～令和11年度）を作成するにあたり、教職員・障害者団体・職員団体の意見聴取を行った。これらの意見が計画に反映され、第2期計画のもと、法定雇用率の達成に向け、障害者を受け入れ、障害特性や個性に応じて能力を有効に発揮するための様々な取組が推進されることを見守っていく必要がある。
 障害者差別解消法に基づき、2024年4月から民間事業者に対しても障害者への合理的配慮の提供が義務化された。精神障害者への合理的配慮が具体的にはどのようなものなのかを民間事業者に対して啓発していくことが大切である。
- 5) 精神障害のある人だけを対象とし、本人の意思に基づかない入院を許す精神保健福祉法による強制入院制度を廃止することをめざす。当面、強制入院を減らし精神科医療での身体拘束や隔離などの人権侵害をなくすために、関係団体・人権団体等とも連携しつつ、以下を実施する。
 - ①旧精神科特例を実質的にも無くし、一般科よりも差別的に低く設定された精神科診療報酬を引き上げることにより、一般医療と同等の質および水準の医療の提供を求めている。特に、慢性期身体合併症対応の医療機能の強化拡充や、投薬にのみ依存しない心理社会療法の励行等を求めている
 - ②精神障害のある人の地域生活が、家族への負担と責任にならないよう、社会資源による地域ケアを整備すると共に、当事者と家族に対する効果的な相談・支援体制を構築する
 - ③教育を通して精神疾患や障害に対する正しい知識・理解を広め、差別・偏見をなくしていく等の要望を実現する。
- 6) 当事者と家族がそれぞれ自立して安心して地域で生活するために、地域生活を支援する多職種チーム（アウトリーチ）の数を増やし、支援者の研修の充実、身近な窓口で相談でき、必要なサービスに繋がられる体制づくりを求めている。

7) 資産運用などを目的として開設される支援力の無い精神障害者のグループホームが急速に増加し、トラブルや事故が増えている実態がある。2023年度より、グループホーム職員の質の向上のための研修予算が増額され、精神障害者対応の研修も実施されるようになった。グループホームの開設にあたっては、一定の支援の質が維持されるような、東京都独自の基準を定め、職員のよりいっそうの研修の充実を図るよう求めている。

1. 啓発広報事業

- 1) 都内の精神保健福祉関係者・当事者・家族等の必携書である「道しるべ」の発行に携わる。
- 2) ホームページを活用し、当会の主張や様々な活動・情報を社会に広める。
- 3) 「つくしだより」と「都連ニュース」を使って情報を単会と関係機関に伝える。
- 4) 講演会を開催する。

①上半期講演会（東京都委託事業）

日時：2025年6月19日（木）14：00～16：00

会場：調布市文化会館（たづくり）映像シアター

テーマ：看護の立場に立った精神科医療について（仮）

講師：草木 仁史（ひとし）氏（日本精神科病院看護協会事務局長）

②下半期講演会（東京都委託事業）

日時：2026年2月 日（土）午後

会場：都庁・

テーマ・講師：未定

- 5) 学習会を実施する。
- 6) 精神保健福祉の啓発のために、都内の精神科病院100カ所に「つくしだより」を配布する。

2. 家族会活性化事業

- 1) ブロック会議の充実に努める。
- 2) 理事の単会訪問を積極的に行う。
- 3) ホームページ、リーフレットを利用して、会員、賛助会員を増やす。
- 4) 家族相談員養成事業を通して各家族会の相談活動の強化を図る。
- 5) 家族研修会を実施する。
- 6) 精神科病院家族会交流会を実施する。

3. 精神保健福祉施策推進活動

- 1) みんなねっとと連携して国の施策に対する意見を述べる。

- 2) 東京都への要望活動は、各単会からの今までの要望をまとめて都に提出していく。都議会各派に働きかけ、請願・陳情などを含む運動をしていく。
- 3) 東京都の会議に参加し、「ふれあいフェスティバル」等の行事に協力する。
- 4) 東京都精神保健福祉民間団体協議会（通称：都精民協）において会長が代表としての役割を果たし、構成諸団体とともに要望活動等を行う。
- 5) 東京都社会福祉協議会と連携する（評議員会や障害者福祉サービス運営適正化委員会などに出席する）。
- 6) 東京都の障害者相談事業（東京都障害者福祉会館にて。毎月 29 日）に協力する。
- 7) 日本精神保健福祉政策学会、メンタルケア協議会に協力する。

4. 相談事業

- 1) 家族相談員養成事業を継続して行う。
- 2) 東京都の委託事業による相談事業を通して単会の相談機能を支援する。
- 3) 「年金相談」事業を行う。
- 4) 厚労省主催の「引きこもりホットライン相談会」に引き続き参加する。

5. 三役会・理事会の充実

- 1) 理事の世代継承を図る。
- 2) 理事会を通して、会の活動の質の向上、情報の共有、目的の明確化、連帯感の強化を図る。
- 3) 三役会で、理事会の議案を整理する。

6. 財政問題

- 1) 引き続き賛助会員の拡大を追求し、民間寄付団体にも支援を求める。

東京つくし会 2025年度年間活動計画（案）

※記載されている行事は6月現在、実施が予定されているもののみです。

月	理事会	都 連 等 行 事
4	4/6(日)	
5	5/11(日)	
6	6/1(日)	・みんなねっと総会 < 6月6日(金) > ・評議員会・上半期講演会 < 6月19日(木) > ・対都要望書提出<6月下旬>
7	7/6(日)	
8	8/3(日)	・多摩ブロック相談員養成講座・交流会
9	9/14(日)	・みんなねっと全国大会in京都< 9月6日(土) > ・23区ブロック相談員養成講座・交流会
10	10/5(日)	・関東ブロック群馬大会<10月26日(土)>
11	11/2(日)	
12	12/7(日)	
2025年 1	1/4(日)	・病院見学会
2	2/1(日)	・病院家族会交流会 ・都民講演会
3	3/1(日)	・多摩ブロック交流会 ・23区ブロック交流会

第四号議案

2025年度 予算 (案)

《一般会計予算》

収入の部

(単位：円)

勘 定 科 目	2025年度予算額 A	2024年度予算額 B	増 △ 減 =A-B	2024年度決算額	備 考
前年度繰越金	1,463,855	1,153,163	310,692	1,153,163	
団体会費	1,920,000	1,992,000	△ 72,000	1,908,000	800名×2,400円
賛助会費	180,000	150,000	30,000	188,000	
共同募金会配分金	490,000	440,000	50,000	440,000	
寄付金	400,000	350,000	50,000	606,602	団体、個人等
立替金	74,000	97,615	△ 23,615	97,615	都精民協下半期講演会 立替返金
利息	0	0	0	134	銀行預金利息
合 計	4,527,855	4,182,778	345,077	4,393,514	

支出の部

(単位：円)

勘 定 科 目	2025年度予算額 A	2024年度予算額 B	増 △ 減 =A-B	2024年度決算額	備 考
人件費	1,050,000	1,050,000	0	1,004,359	事務局員賃金・交通費
福利厚生費	4,000	4,000	0	▲ 645	労働保険料
役員行動費	60,000	60,000	0	60,000	会長活動費
会議費	40,000	40,000	0	14,900	理事会・評議員会会場費他
交通費	300,000	300,000	0	274,390	行動費（理事会・三役会交通費を含む）
通信運搬費	130,000	130,000	0	105,184	郵便代、振込手数料他
消耗什器備品費	100,000	20,000	80,000	8,999	FAXプリンター買替
消耗品費	200,000	200,000	0	163,106	A4, B5用紙、封筒、文具 他
修繕費	5,000	5,000	0	0	機器修理代
印刷製本費	330,000	330,000	0	305,488	印刷・紙折り機使用料、印刷機・プリンター、コピー代
家賃	360,000	380,000	△ 20,000	379,420	事務所家賃、火災保険
負担金支出	100,000	100,000	0	90,000	みんなねっと、東社協他
渉外費	30,000	30,000	0	52,200	慶弔費
旅費	100,000	130,000	△ 30,000	136,054	2025年京都大会予定
つくしだより発行事業費	330,000	230,000	100,000	239,296	つくしだより発行費 ※100病院送付先増のため
調査研究費	5,000	5,000	0	0	
研修費	5,000	5,000	0	2,000	研修会参加費 他
情報宣伝費	7,000	6,000	1,000	6,600	HP管理料 他
予備費	20,000	30,000	△ 10,000	0	名刺印刷代 他
立替金	100,000	100,000	0	74,000	都精民協下半期講演会立替
雑費・雑損	20,000	10,000	10,000	14,308	
支出額計	3,296,000	3,165,000	131,000	2,929,659	
収支差額	1,231,855	1,017,778	214,077		
次期繰越収支差額	1,231,855	1,017,778	214,077		
合 計	4,527,855	4,182,778	345,077		

《特別会計予算》

新規事業立ち上げ準備金会計

収入の部

(単位：円)

科 目	2025年度予算額A	2024年度予算額B	増 △ 減 =A-B	2024年度決算額	備 考
前年度繰越金	6,464,907	6,464,587	320	6,464,907	内訳 { 定期預金 5,009,583 通常貯金 1,455,324
委託事業会計へ立替返金	4,187,000	4,187,000	0	4,187,000	
利息収入	841	7	834	320	
合 計	10,652,748	10,651,594	1,154	10,652,227	

支出の部

(単位：円)

科 目	2025年度予算額A	2024年度予算額B	増 △ 減 =A-B	2024年度決算額	備 考
委託事業会計へ立替	4,187,000	4,187,000	0	4,187,000	
計	4,187,000	4,187,000	0	4,187,000	
次年度繰越金	6,465,748	6,464,594	1,154	6,465,227	内訳 { 定期預金 5,009,583 通常貯金 1,456,165
合 計	10,652,748	10,651,594	1,154	10,652,227	

《委託事業会計予算》

1) 精神保健福祉相談事業

収入の部

(単位：円)

勘 定 科 目	2025年度予算額A	2024年度予算額B	増 △ 減 =A-B	2024年度決算額	備 考
東京都委託事業	4,187,000	4,187,000	0	4,187,000	道しるべ、講演会 相談事業等
合 計	4,187,000	4,187,000	0	4,187,000	

※東京都委託事業から2024年度の精算に対しての入金予定

支出の部

勘 定 科 目	2025年度予算額A	2024年度予算額B	増 △ 減 =A-B	2024年度決算額	備 考
東京都委託事業 (みちしるべ/講演会)	3,581,000	3,581,000	0	3,581,000	道しるべ、講演会 相談事業等
(連絡調整事業)	606,000	606,000	0	606,000	都精民協運営費
合 計	4,187,000	4,187,000	0	4,187,000	

第五号議案

2025年度 東京つくし会役員名簿（案）

（理事候補五十音順）

氏 名	所 属 団 体 名
（理事）	
伊 藤 則 子	狛江さつき会
植 松 和 光	シュロの会（国立市）
大 山 竹 彦	新宿フレンズ
轡 田 英 夫	NPO法人練馬すずしろ会
高 木 む つ 美	かたくりの会（江戸川区）
寺 澤 元 一	NPO法人世田谷さくら会
中 住 孝 典	青梅ほっと・スマイル
本 田 道 子	渋谷太陽の会
眞 壁 博 美	立川麦の会
（理事補佐）	
浅 水 美 代 子	文京区家族会
小 澤 輝 江	府中梅の木会
前 山 栄 江	文京区家族会
（監事）	
告 野 恵 子	NPO法人世田谷さくら会
鳥 山 克 宏	府中梅の木会
（相談役）	
羽 藤 邦 利	代々木の森診療所理事長
野 村 忠 良	府中梅の木会
（事務局）	
西 谷 英 理	〒182-0024 調布市布田1-26-12 ダイアパレス調布220 TEL/FAX 042-453-7534